

令和2年度 指導計画・評価計画表 【2年生数学科】

調布市立調布中学校

指導内容 ・一般 ☆スパイラル的演習 ◎言語活動 ※発展課題 観点項目 ① 数学への関心・意欲・態度 ② 数学的な見方や考え方 ③ 数学的な技能 ④ 数量・図形などについての知識・理解

月	指導単元	指導内容	配当時数		観点項目	指導目標 (ねらい)	具体的評価規準	評価方法	支援方法
			標準	発展					
6	第6章 空間図形 2 立体の表面積と体積 2 立体の体積 3 球の表面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> 柱体の体積 錐体の体積 円錐の体積 <ul style="list-style-type: none"> 球の表面積 球の体積 	1	1	①	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を空間図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 扇形の弧の長さや面積や、柱体・錐体・球の表面積と体積に関心を持ち、その求め方を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言 指導方法の工夫改善 (個別観察と支援) 教材の開発
					②	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形についての基礎的な知識の習得や活用を通して、直線や平面図形の運動によって構成されているものととらえたりするなど、図形に対する直観的な見方や考え方を身に付け、筋道を立てて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察、操作や実験を通して、柱体・錐体の表面積・体積の求め方を考えることができる。 		
					③	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形などの図形を見取図、展開図によって適切に表現したり、空間図形を直線や平面図形の運動によってとらえ、操作や実験を適切に行い、基本的な図形の計量を行ったりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見取図や展開図を、用いて空間図形を表したり、見取図や展開図から空間図形やその性質をよみとったりすることができる。 おうぎ形の弧の長さや面積や柱体・錐体の表面積と体積を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。 		
					④	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係及び基本的な図形の性質や図形の計量の仕方などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 柱体・錐体の表面積(底面積、側面積)と体積の意味やその求め方を理解している。 		
7	第7章 資料の整理とその活用 1 資料の整理とその活用 1 度数の分布 2 資料の比較 ○累積度数 3 資料の代表値 4 資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表を作る ヒストグラムを作る 度数折れ線を作る ◎資料を比べてみよう① <ul style="list-style-type: none"> 相対度数 累積度数 代表値、平均値 階級と階級値 中央値 最頻値 分散の様子と代表値 散らばりと範囲 ◎資料を比べてみよう② ※自分で調べて発表しよう ☆章の復習 ※発展課題	1	1	①	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりすることに関心をもつとともにヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえて説明しようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理しようとしている。 問題を解決するため、代表値などを求めようとしている。 累積度数の必要性に関心を持ち、度数分布表に表された資料を累積度数の考えで見直そうとしている。 課題を解決するために、ヒストグラムや代表値を用いて、整理しようとしている。 		
					②	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりするとともにヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえて説明することができる。 累積度数の意味と有効性を理解し、利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料の傾向を読み取り説明することができる。 問題を解決するために、代表値等を用いて、資料の傾向をとらえて説明することができる。 累積度数についても、相対度数の考えで資料を比較したり見直したりすることができる。 資料を整理して傾向をとらえ、ヒストグラムや代表値などを用いて、説明することができる。 		
					③	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いるなどして度数分布表やヒストグラムを作ったり代表値を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するため、度数分布表やヒストグラム、相対度数などを用いて、資料を整理することができる。 問題を解決するため、代表値などを求めることができる。 度数分布表から、累積度数を求め、累積度数分布表をついたり、累積相対度数を求めたりすることができる。 		
5時間配当									

						<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するために、ヒストグラムや代表値を用いて、整理することができる。 				
				4	<ul style="list-style-type: none"> 資料を整理する方法や代表値、数量の表現方法などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表やヒストグラム、相対度数などの必要性和意味を理解している。 代表値などの必要性和意味を理解している。 累積度数、累積度数分布表、累積相対度数などの用語の意味と必然性を理解している。 課題を解決するために、ヒストグラムや代表値、相対度数などをどのように用いればよいかを理解している。 				
7	第1章 式の計算	既習事項の確認	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を文字を用いた式などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 整式の加法・減法及び単項式の乗法・除法に関心を持ち、それらの計算をしようとしている。 文字を用いて表現したり、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったり、計算したりすることに関心を持ち、命題が成り立つことなどを説明しようとしている。 			
	① 式の計算									
	1 単項式と多項式	<ul style="list-style-type: none"> 単項式と多項式 項と次数 	0.5	0.5	0.5					
	2 多項式の計算	<ul style="list-style-type: none"> 同類項 同類項の整理 式の加法 式の減法 多項式と数の乗法 多項式と数の除法 	1	1	1					
	3 単項式の乗法、除法	<ul style="list-style-type: none"> 単項式の乗法 単項式の除法 乗除の混じった計算 ※いろいろな計算 かっこのある計算 分数を含む計算 	0.5	0.5	0.5	2	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察して表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 整式の加法・減法や単項式の乗法・除法の計算の方法を、具体的な数の計算や第1学年で学習した文字を用いた式の計算と関連付けて考えることができる。 文字を用いて表現したり、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、命題が成り立つことなどを説明することができる。 		
	4 式の値	<ul style="list-style-type: none"> 式の値 計算演習 	0.5	0.5	0.5	3	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式で表現したり、その意味を読み取ったり、簡単な整式の加法や減法の計算をしたり、単項式の乗法や除法の計算をしたり、簡単な式の変形をしたりするなど、技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な整式の加法・減法の計算ができる。 単項式の乗法・除法の計算ができる。 数量及び数量の関係を、文字を用いた式で表すことができる。 具体的な場面で、数量を表す式や関係を表す式を、目的に応じて変形することができる。 文字を用いた式の意味を読み取ることができる。 		
	② 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ◎連続する整数の問題 ◎2ケタの自然数の問題 ◎奇数と偶数の性質 ※図形に関する問題 	1	1	1					
	1 文字式の利用		1	1	1					
	2 等式の変形	<ul style="list-style-type: none"> 等式の変形 ☆章のまとめと演習 	1	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることなどを理解し、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単項式や多項式、同類項の意味を理解している。 数量及び数量の関係を帰納や類推によってとらえ、それを文字を用いた式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。 		
	1 5時間配当		1	1	2					
8	第2章 連立方程式									
	① 連立方程式									
	1 連立方程式とその解	<ul style="list-style-type: none"> 1次方程式の確認 2元1次方程式の解 連立方程式と解 	1	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を連立2元1次方程式などでとらえたり、それらの性質や関係を見出したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2元1次方程式とその解及び連立2元1次方程式とその解に関心を持ち、その必要性和意味を考えたり、様々な数を代入するなどして自分なりの方法で解を求めたりしようとしている。 加減法や代入法と、その基になっている考え方に興味を持ち、連立2元1次方程式を解こうとしている。 連立2元1次方程式を活用することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言
	2 連立方程式の解き方	<ul style="list-style-type: none"> 加減法で解く 一方にかけて加減法で解く 係数の揃え方 代入法で解く 	1	1	1					
	3 いろいろな連立方程式の解き方	<ul style="list-style-type: none"> カッコのある方程式 分数を含む方程式 小数を含む方程式 「A=B=Cの形をした」方程式 問題演習 	0.5	0.5	0.5	2	<ul style="list-style-type: none"> 連立2元1次方程式などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連立2元1次方程式を変数が満たすべき条件をとらえ、二つの条件が成り立つ変数の値の組を求める方法を考えることができる。 加減法や代入法で連立2元1次方程式を解く過程を振り返り、その共通点や相違点について考えることができる。 具体的な事象の中の数量の関係をとらえ連立2元1次方程式をつくることことができる。 求めた解や解決の方法が適切であるかどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法の工夫改善(個別観察と支援) 教材の開発 	
	② 連立方程式の利用									
	1 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ◎連立方程式の利用 ◎代金の問題 	1	1	1					

	1 6 時間配当	◎速さの問題 ◎割合の問題 ◎解から式を求める問題 ◎整数に関する問題 ◎文字のおき方に注意する問題 ☆章のまとめと演習 ※発展学習 連立3元1次方程式	1 1 1 1 1	0.5 0.5 1 1 2 1			振り返ることができる。		
					③	・簡単な整式の加法や減法の計算をしたり、簡単な式の変形をしたり、簡単な連立2元1次方程式を解いたりするなど、技能を身に付けている。	・連立2元1次方程式をつくること ・二つの2元1次方程式に数を代入して、連立2元1次方程式の解であるかどうかを確かめること ・加減法や代入法を用いて、連立2元1次方程式を解くこと ・問題中の数量やその関係を文字を用いた式で表し、それを基にしてつくった連立2元1次方程式を解くこと		
					④	・連立2元1次方程式の必要性と意味及びその解の意味などを理解し、知識を身に付けている。	・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立2元1次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・加減法や代入法による連立2元1次方程式の解き方を理解している。 ・連立2元1次方程式を活用して問題を解決する手順を理解している。		
9	第3章 1次関数 ① 1次関数 1 1次関数 2 1次関数の値の変化 3 1次関数のグラフ 4 1次関数の式の求め方 ② 1次関数と方程式 1 2元1次方程式のグラフ 2 連立方程式とグラフ ③ 1次関数の利用 1 1次関数の利用 1 5 時間配当	・比例の確認 ・1次関数の定義 ・1次関数の値の変化 ・変化の割合 ・表を作ってグラフをかく ・傾きと切片からグラフをかく ・グラフの特徴 ・グラフを読む ・変域のあるグラフ	1 0.5 0.5 1 1 1 1	1 0.5 0.5 1 1 1 1	①	・様々な事象を1次関数としてとらえたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。	・1次関数に関心を持ち、具体的な事象の中から1次関数としてとらえられる二つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。 ・1次関数の特徴に関心を持ち、表、式、グラフを用いて考えようとしている。 ・2元1次方程式と1次関数の関係に関心を持ち、2元1次方程式の解と1次関数のグラフの関係について考えようとしている。 ・1次関数を用いて具体的な事象をとらえて説明することに関心を持ち、問題の解決に生かそうとしている。	・定期テスト ・練習課題 ・小テスト ・授業観察 ・授業記録シート	・少人数授業 ・質問教室 ・補習 ・机間指導 ・指導助言 ・指導方法の工夫改善(個別観察と支援)
		・傾きと切片から ・傾きと1点から ・2点から	0.5 0.5 1	0.25 0.25 0.5	②	・1次関数についての基礎的、基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・具体的な事象の中にある二つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、1次関数としてとらえられる二つの数量を見いだすことができる。 ・1次関数の特徴を、表、式、グラフを相互に関連付けるなどして見いだすことができる。 ・2元1次方程式を関数関係を表す式とみることで、2元1次方程式の解と1次関数のグラフの関係を見いだすことができる。 ・具体的な事象から取り出した二つの数量の関係が1次関数であるかどうかを判断し、その変化や対応の特徴をとらえ、説明することができる。 ・具体的な事象の中から取り出した二つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして1次関数とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予測したりすることができる。 ・1次関数を用いて調べたり、予測したりした結果が適切であるかどうか振り返って考えることができる。		・教材の開発
		◎速さの問題 ◎動点の問題 ☆章のまとめと演習	1 2 1	1 2 2	③	・1次関数の関係を、表、式、グラフを用いて的確に表現したり、数学的に処理したり、2元1次方程式を、関数関係を表す式とみてグラフに表したりするなど、技能を身に付けている。	・1次関数の関係を式で表すことができる。 ・1次関数の関係を表す式に数を代入し、対応する値を求めることができる。 ・1次関数の関係を表、式、グラフで表すことができる。 ・1次関数の変化の割合を求めることができる。 ・2元1次方程式の解を座標とみて、座標平面上に表すことができる。 ・座標平面上の2直線の交点の座標を連立2元1次方程式を解いて求めたり、連立2元1次方程式		

						<ul style="list-style-type: none"> 式の解を2直線の交点の座標から求めたりすることができる。 1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 			
					4	<ul style="list-style-type: none"> 事象の中には1次関数としてとらえられるものがあることや1次関数の表、式、グラフの関連などを理解し、知識を身に付けている。 1次関数の意味を理解している。 1次関数の特徴を理解している。 変化の割合やグラフの傾きの意味を理解している。 $b \neq 0$ のとき、2元1次方程式 $ax+by+c=0$ は、xとyの間の関数関係を表す式とみることができることを理解している。 連立2元1次方程式の解は座標平面上の2直線の交点の座標であることを理解している。 具体的な事象の中には、1次関数とみなすことで変化や対応の様子について調べたり、予測したりできるものがあることを理解している。 			
10	第4章 図形の性質と合同 ① 平行線と角 1 直線と角 2 三角形の角 3 多角形の内角と外角 ② 三角形の合同 1 合同な図形 2 三角形の合同条件	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角とその性質 同位角、錯角 平行線と同位角、錯角の性質の性質 三角形の内角 三角形の外角 角の種類と演習 ◎多角形の内角の和 ◎多角形の外角の和 ◎いろいろな図形の角の和 	0.5 0.5 1 0.5 0.5 1 1 1 2	0.5 0.5 1 0.5 0.5 1 1 1 2	1	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などでとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行線や角の性質に関心を持ち、その性質を帰納的に確かめて演繹的に導いたり、それを用いて角の大きさを求めたり、直線の位置関係を表したりしようとしている。 多角形の角についての性質に関心を持ち、既習のことに帰着させるなどして、多角形の内角の和や外角の和などを考えようとしている。 合同な図形の性質や三角形の合同条件に関心を持ち、それらを見いだしたり、三角形の合同条件を用いて図形の性質などを考えたりしようとしている。 図形の性質などを証明することに関心を持ち、その必要性と意味を考えたり、証明の方法について考えたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言 指導方法の工夫改善(個別観察と支援) 教材の開発
11	③ 証明 1 証明のしくみ ※星型五角形・七角形 ☆章のまとめと演習 1 7時間配当	<ul style="list-style-type: none"> 合同 合同条件 証明とそのしくみ 証明と書き方 証明の練習 ※星型五角形・七角形 ☆章のまとめと演習 	1 1 1 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1	2	<ul style="list-style-type: none"> 平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角や平行線の性質を見だし、根拠を明らかにして自分の言葉で筋道を立てて説明することができる。 「三角形の内角の和は180°である」ことなどを、平行線の性質を用いて説明することができる。 多角形の内角の和や外角の和などを予想し、それが正しいことを既習のことに帰着させて考えることができる。 三角形の決定条件を基にして、二つの三角形が合同になるための条件を見いだすことができる。 三角形の合同条件を用いて、二つの三角形が合同であるかどうかを考えることができる。 三角形の合同条件を用いて、角を移す作図、角を二等分する作図などが正しいかどうかを考えることができる。 図形の性質などを証明するために、構想や方針を立てることができる。 構想や方針を基にして、仮定など根拠となる事柄を明らかにし、筋道立てて結論を導くにはどうすればよいかを考えることができる。 命題が正しくないことを証明するために、反例をあげることができる。 		
					3	<ul style="list-style-type: none"> 平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などを、数学の用語や記号を用いて簡潔に表現するなど、技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角や平行線の性質を用いて、角の大きさを求めたり、直線の位置関係などを表したりすることができる。 多角形の内角の和や外角の和などを求めることができる。 二つの三角形が合同であることや、辺や角の関 		

						<ul style="list-style-type: none"> 係などを、記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 合同な三角形の対応する辺の長さや角の大きさを求めることができる。 命題の仮定や結論などを、記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 			
					4	<ul style="list-style-type: none"> 平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件、図形の証明の必要性と意味及びその方法などを理解し、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。 平行線の性質を理解している。 「三角形の内角の和は180°である」ことなどを、帰納的な方法で示すことと、演繹的な方法で示すことの違いを理解している。 多角形の内角と外角及び内角の和と外角の和の意味を理解している。 多角形の内角の和と外角の和の求め方を理解している。 図形の合同と三角形の合同条件の意味を理解している。 定義や命題の仮定と結論、逆の意味を理解している。 証明の必要性と意味を理解している。 証明のための構想や方針の必要性と意味を理解している。 反例の意味を理解している。 		
12	<p>第5章 三角形と四角形</p> <p>① 三角形</p> <p>1 二等辺三角形の性質</p> <p>2 二等辺三角形になるための条件</p> <p>3 直角三角形の合同条件</p> <p>② 四角形</p> <p>1 平行四辺形の性質</p> <p>2 平行四辺形になるための条件</p> <p>3 特別な平行四辺形</p> <p>4 面積が等しい三角形</p> <p>1 8時間配当</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の定義 二等辺三角形の性質 二等辺三角形と証明 正三角形の定義と性質 正三角形と証明 <ul style="list-style-type: none"> 定理の逆 二等辺三角形になるための条件 <ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件 直角三角形と証明 <ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の性質 平行四辺形と証明 平行四辺形になるための条件 ※証明の確認と演習 平行四辺形と四角形 ※四角形の性質とまとめ 底辺が共通な三角形 等積変形 ※図形の問題演習 ※章のまとめと演習 	<p>0.5</p> <p>0.5</p> <p>0.5</p> <p>0.5</p> <p>0.5</p> <p>0.5</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>	<p>0.25</p> <p>0.25</p> <p>0.5</p> <p>0.25</p> <p>0.25</p> <p>0.5</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象を平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などでとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 二等辺三角形や直角三角形や平行四辺形などについての基礎的、基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察して表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 二等辺三角形や直角三角形や平行四辺形などについての性質、直角三角形の合同条件などを、数学の用語や記号を用いて簡潔に表現するなど、技能を身に付けている。 二等辺三角形や直角三角形や平行四辺形などについての性質、直角三角形の合同条件、図形の証明の必要性と意味及びその方法などを理解し、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形や平行四辺形の性質などに関心を持ち、それらについて調べ、証明しようとしている。 図形の性質の証明を読むことに関心を持ち、新たな性質を見いだそうとしている。 二等辺三角形の性質を調べ、証明することができる。 平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を調べ、証明することができる。 図形の性質の証明を読み、新たな性質を見いだすことができる。 二等辺三角形の性質や平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件などを、記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 三角形や平行四辺形の性質の証明から、辺や角の関係などを読み取ることができる。 証明を読んで見いだした図形の性質を、記号を用いて表すことができる。 二等辺三角形の性質を理解している。 直角三角形の合同条件とその必要性を理解している。 平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を理解している。 長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の関係などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 練習課題 小テスト 授業観察 授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業 質問教室 補習 机間指導 指導助言 指導方法の工夫改善(個別観察と支援) 教材の開発
	資料の散らばり	<ul style="list-style-type: none"> 四分位数の意味 第1四分位数の意味 	<p>0.25</p> <p>0.25</p> <p>0.25</p>	<p>0.25</p> <p>0.25</p> <p>0.25</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 資料の整理に必要な用語を学び、それを用いて資料の散らばりを図で表そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の散らばりの程度を表す新しい指標について関心を持ち、四分位数を求め、箱ひげ図に表そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数授業

2 3 年間	2時間配当	<ul style="list-style-type: none"> ・第2四分位数の意味 ・第3四分位数の意味 ・四分位範囲の意味 ・箱ひげ図の意味 まとめと演習	0.25 0.25 0.25 0.5	0.25 0.25 0.25 0.5	[2] <ul style="list-style-type: none"> ・資料の特徴を調べるために、既習の内容や四分位数、四分位範囲を用いて、資料の傾向を理解・比較できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の特徴をより詳しく調べるために、既習の中央値、範囲を発展させた四分位数、四分位範囲が必要だということを認識する。 ・作成した箱ひげ図を用いることで、複数の資料の傾向を比較することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習課題 ・小テスト ・授業観察 ・授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問教室 ・補習 ・机間指導 ・指導助言 ・指導方法の工夫改善(個別観察と支援) ・教材の開発
	第6章 確率 ① 確率 1 ことがらの起こりやすさ 2 確率 3 いろいろな確率	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の意味 ・場合の数の求め方 ・確率の求め方 樹形図 ・確率の求め方 表 <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな確率 サイコロ ・いろいろな確率玉 ・いろいろな確率くじ引き ・いろいろな確率 余事象 ※確率の発展課題 ☆章のまとめと演習	1 1 0.5 0.5 1 0.5 0.5 1 1	1 1 0.5 0.5 1 0.5 0.5 1 0.5	[1] <ul style="list-style-type: none"> ・確定な事象について、その起こる程度を調べたり、確率を用いて不確定な事象をとらえ説明したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確率に関心を持ちその必要性和意味を考えたり、不確定な事象の起こりやすさについて調べたり、確率を求めたりしようとしている。 ・確率を用いて不確定な事象をとらえ説明することに興味を持ち、問題の解決に生かそうとしている。 		
	7時間配当				[2] <ul style="list-style-type: none"> ・確率などについての基礎的、基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多数回の試行を行うなどして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取ることができる。 ・同様に確からしいことを基にして、確率の求め方を考えることができる。 ・多数回の試行から求めた確率と、同様に確からしいことを基にして求めた確率を比較し、その関係を考えることができる。 ・問題を解決するために、確率を用いて、不確定な事象の起こりやすさの傾向をとらえ説明することができる。 		
					[3] <ul style="list-style-type: none"> ・起こり得る場合を順序よく整理して、簡単な場合について確率を求めるなど、技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多数回の試行の結果から、相対度数を計算して確率を求めることができる。 ・樹形図や二次元の表などを利用して、起こり得るすべての場合を求め、同様に確からしいことを基にして、簡単な場合について確率を求めることができる。 ・問題を解決するために、起こり得るすべての場合を求めたり、確率を求めたりすることができる。 		
					[4] <ul style="list-style-type: none"> ・不確定な事象の起こる程度を数を用いて表すことができること、確率の必要性和意味などを理解し、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の必要性和意味を理解している。 ・確率を用いて問題を解決する手順を理解している。 		
	各章共通	各内容共通			[1] <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考えることに興味を持ち、意欲的に問題の解決に活用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に積極的に取り組み、数学を活用し授業では発言や質問ができる。 ・能力に合わせてノートを作成し提出することができる。 ・練習課題に取り組み自己の課題を確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・机間指導 ・ノート提出 ・課題提出 ・授業記録シート 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導助言 ・個別指導 ・未提出物連絡